

Cisco UCS サーバ C220/C240/B200 M5 メモリ ガイド

目次

メモリ構成、メモリのパーツ型番およびメモリ ミラーリング	3
物理レイアウト	9
メモリ搭載ツール	10
DIMM 装着順序	11
推奨メモリ構成	12
追加の DIMM 装着	13
DIMM または DIMM ブランクの取り付け	15

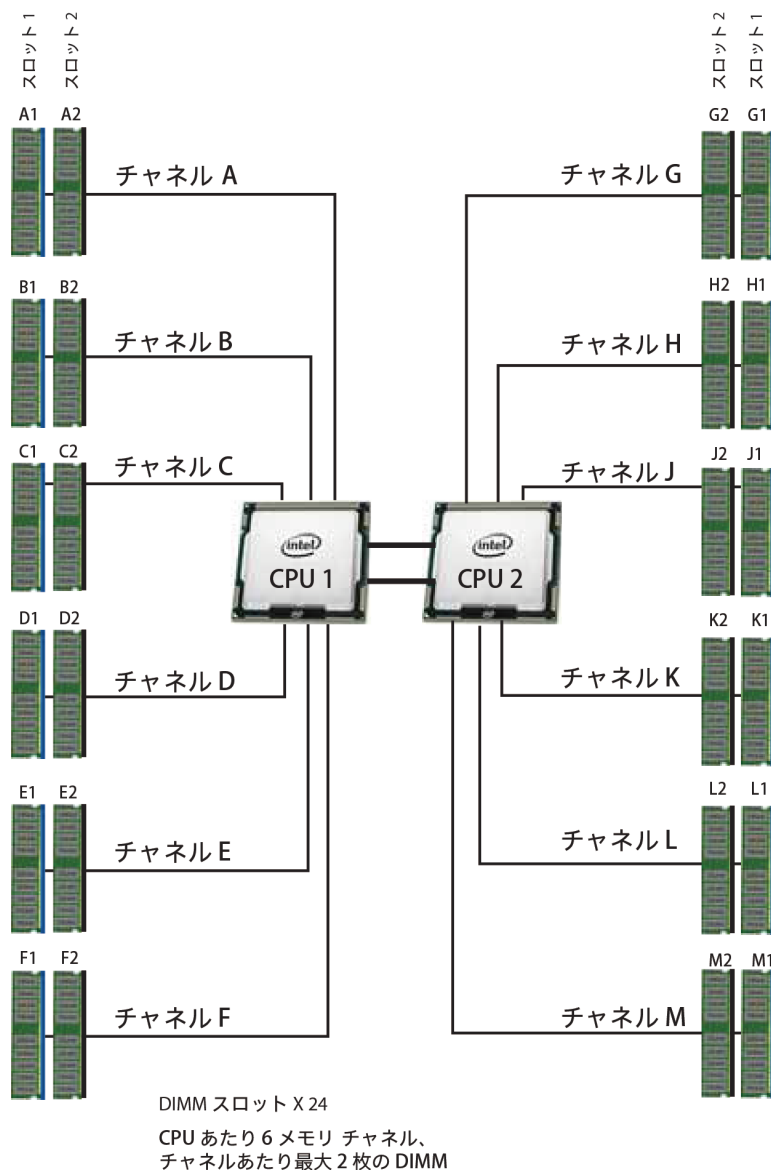
本書は、英語版 Spec sheet を翻訳、ローカライズしたものです。最新の技術情報は、英語資料も参照ください。日本語資料更新等の時間差などの理由で、本書の情報が古い場合があります。

メモリ構成、メモリのパーツ型番およびメモリ ミラーリング

メモリの標準機能は次のとおりです。

- クロック速度：CPU のタイプに応じて 2666 MHz または 2933 MHz
 - DIMM あたりのランク：1、2、4、または 8
 - 動作時の電圧：1.2 V
 - Registered ECC DDR4 DIMM (RDIMM) または Load Reduced DIMM (LRDIMM)
- [図1](#) に示すように、メモリは CPU あたり 6 個のメモリ チャンネルがあり、チャンネルごとに最大 2 つの DIMM で構成されます。

図 1 C220、C240、B200 M5 メモリ スロット構成



メモリとメモリ ミラーリングの選択

メモリの構成とメモリ ミラーリング オプションが必要かどうかを選択します。選択可能なメモリとミラーリング オプションを表1に示します。



注：メモリ ミラーリングを有効にすると、メモリ サブシステムにより、同一データが2つの DIMM に同時に書き込まれます。解決できないメモリ エラーが発生し、プライマリ DIMM からのメモリ読み取りで正しくないデータが返された場合、ミラーリングされたペアのセカンダリ DIMM から自動的にデータが取得されます。したがって、一方の DIMM のエラーがミラーリングされたデータに影響することはありません。また、ミラーリングされたペアの両方の DIMM にエラーが伝播しない限り、操作は続行されます。メモリ ミラーリングを使用すると、ミラー ペアになっている2つの DIMM のうち片方の容量しか利用できないため、OS で使用できるメモリ容量は半減します。

表1 使用可能な メモリ DIMM

製品 ID (PID)	説明	電圧	ランク/ DIMM
UCS-MR-128G8RS-H	128 GB DDR-2666-MHz TSV-RDIMM/4-/8R/x4	1.2 V	8
UCS-MR-X64G4RS-H	64 GB DDR-2666-MHz TSV-RDIMM/4-/4R/x4	1.2 V	4
UCS-ML-X64G4RS-H	64 GB DDR-2666-MHz LRDIMM/4-/4R/x4	1.2 V	4
UCS-MR-X32G2RS-H	32 GB DDR-2666-MHz RDIMM/4-/2R/x4	1.2 V	2
UCS-ML-X32G2RS-H	32 GB DDR-2666-MHz LDIMM/4-/2R/x4	1.2 V	2
UCS-MR-X16G2RS-H	16 GB DDR-2666-MHz RDIMM/4-/2R/x4	1.2 V	2
UCS-MR-X16G1RS-H	16 GB DDR-2666-MHz RDIMM/4-/1R/x4	1.2 V	1
UCS-MR-X8G1RS-H	8 GB DDR-2666-MHz RDIMM/4-/1R/x4	1.2 V	1
UCS-ML-128G4RT-H	128 GB DDR4-2933-MHz LRDIMM/4Rx4 (16Gb) 1.2v	1.2 V	4
UCS-ML-X64G4RT-H	64 GB DDR4-2933-MHz LRDIMM/4Rx4 (8Gb) 1.2v	1.2 V	4
UCS-MR-X64G2RT-H	64 GB DDR4-2933-MHz RDIMM/2Rx4 (16Gb) 1.2v	1.2 V	2
UCS-MR-X32G2RT-H	32 GB DDR4-2933-MHz RDIMM/2Rx4 (8Gb) 1.2v	1.2 V	2
UCS-MR-X16G1RT-H	16 GB DDR4-2933-MHz RDIMM/1Rx4 (8Gb) 1.2v	1.2 V	1
Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ製品			
UCS-MP-128GS-A0	Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ、128 GB、2666 MHz		
UCS-MP-256GS-A0	Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ、256 GB、2666 MHz		
UCS-MP-512GS-A0	Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ、512 GB、2666 MHz		
メモリ ミラーリング オプション			
N01-MMIRROR	メモリ ミラーリング オプション		

動作確認済みの構成

(1) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし :

- 1 ~ 12 DIMM から選択します。詳細については、[9 ページ](#)を参照してください。

(2) 1 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり :

- 4、6、8、または 12 の同じ DIMM を選択します。DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

CPU 1 チャンネル内の DIMM 配置 (同一速度の DIMM)	
4	(A1、B1) 、 (D1、E1)
6	(A1、B1、C1) 、 (D1、E1、F1)
8	(A1、A2、B1、B2) 、 (D1、D2、E1、E2)
12	(A1、A2、B1、B2、C1、C2) 、 (D1、D2、E1、E2、F1、F2)

- [表 1 \(4 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。

(3) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングなし : CPU あたり 1 ~ 12 の DIMM を選択します。詳細については、[9 ページ](#)を参照してください。

(4) 2 CPU 構成、メモリ ミラーリングあり :

- 8、12、16、または 24 の同じ DIMM を選択します。DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

	CPU 1 チャンネル内の DIMM 配置 (同一速度の DIMM) CPU 1	CPU 2 チャンネル内の DIMM 配置 (同一速度の DIMM) CPU 2
8	(A1、B1) 、 (D1、E1)	(G1、H1) 、 (K1、L1)
12	(A1、B1、C1) 、 (D1、E1、F1)	(G1、H1、J1) 、 (K1、L1、M1)
16	(A1、A2、B1、B2) 、 (D1、D2、E1、E2)	(G1、G2、H1、H2) 、 (K1、K2、L1、L2)
24	(A1、A2、B1、B2、C1、C2) 、 (D1、D2、E1、E2、F1、F2)	(G1、G2、H1、H2、J1、J2) 、 (K1、K2、L1、L2、M1、M2)

- [表 1 \(4 ページ\)](#) に示すメモリ ミラーリング オプション (N01-MMIRROR) を選択します。



注 : システム パフォーマンスは、両方の CPU で DIMM のタイプと数量が同じで、すべてのチャンネルがサーバ内の CPU 全体で等しく利用されている場合に最適化されます。

注意

- システムの速度は、チャンネルあたりの DIMM の装着数と CPU の DIMM 速度サポートによって異なります。詳細は表 2 を参照してください。

表 2 異なる Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ別 2666-MHz DIMM メモリ速度

DIMM および CPU の周波 数 (MHz)	DPC	TSV- RDIMM (8Rx4) - 128 GB (MHz)	TSV-RDIMM (4Rx4) - 64 GB (MHz)	LRDIMM (4Rx4) - 64 GB (MHz)	RDIMM (2Rx4) - 32 GB (MHz)	LRDIMM (2Rx4) - 32 GB (MHz)	RDIMM (1Rx4) - 16 GB (MHz)	RDIMM (1Rx4) - 8 GB (MHz)
		1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V
DIMM = 2666 CPU = 2666	1DPC	2666	2666	2666	2666	2666	2666	2666
	2DPC	2666	2666	2666	2666	2666	2666	2666
DIMM = 2666 CPU = 2400	1DPC	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400
	2DPC	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400
DIMM = 2666 CPU = 2133	1DPC	2133	2133	2133	2133	2133	2133	2133
	2DPC	2133	2133	2133	2133	2133	2133	2133

表 3 第 2 世代 Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサ (Cascade lake) の 2993-MHz DIMM メモリ速度

DIMM および CPU の周波 数 (MHz)	DPC	LRDIMM (4Rx4) - 128 GB (MHz)	LRDIMM (4Rx4) - 64 GB (MHz)	RDIMM (2Rx4) - 64 GB (MHz)	RDIMM (2Rx4) - 32 GB (MHz)	RDIMM (1Rx4) - 16 GB (MHz)
		1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V	1.2 V
DIMM = 2993 CPU = 2993	1DPC	2993	2993	2993	2993	2993
	2DPC	2993	2993	2993	2993	2993
DIMM = 2993 CPU = 2666	1DPC	2666	2666	2666	2666	2666
	2DPC	2666	2666	2666	2666	2666
DIMM = 2993 CPU = 2400	1DPC	2400	2400	2400	2400	2400
	2DPC	2400	2400	2400	2400	2400
DIMM = 2993 CPU = 2133	1DPC	2133	2133	2133	2133	2133
	2DPC	2133	2133	2133	2133	2133

Intel® Optane™ DC パーシステント メモリ

- App Direct モード :** DRAM はメモリ容量として、DCPMM はストレージとして、CPU から認識されます。
- メモリ モード :¹** DRAM はキャッシュに使われます。CPU からは DCPMM がメモリ容量として使われます。
- 混合モード :** DRAM はキャッシュに使われます。CPU からは DCPMM がメモリ容量として使われます。

注 :

1. メモリ モードの場合、推奨される DRAM : DCPMM の密度比は 1:4 ~ 1:16 です。

表 4 第 2 世代 Intel® Xeon® の DRAM および DCPMM の物理構成 (デュアル ソケット)

DCPMM: DRAM の数	CPU 1											
	iMC1						iMC0					
	チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0		チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0	
	F2	F1	E2	E1	D2	D1	C2	C1	B2	B1	A2	A1
4 ~ 12 (デュアル CPU)		DRAM		DRAM	DCPMM	DRAM		DRAM		DRAM	DCPMM	DRAM
8 ~ 12 (デュアル CPU)		DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM		DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM
12 ~ 12 (デュアル CPU)	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM
DCPMM: DRAM の数	CPU 2											
	iMC1						iMC0					
	チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0		チャンネル 2		チャンネル 1		チャンネル 0	
	M2	M1	L2	L1	K2	K1	J2	J1	H2	H1	G2	G1
4 ~ 12 (デュアル CPU)		DRAM		DRAM	DCPMM	DRAM		DRAM		DRAM	DCPMM	DRAM
8 ~ 12 (デュアル CPU)		DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM		DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM
12 ~ 12 (デュアル CPU)	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM	DCPMM	DRAM

注 :

1. 現時点で DCPMM を使用する場合は、すべてのシステムに CPU を装着する必要があります。

詳細な Intel DCPMM の構成については、[サーバ設置およびサービス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

- C220、C240、B200 M5 サーバは、以下に示す 4 つの異なるメモリ信頼性、可用性、有用性 (RAS) モードをサポートします。
 - 独立チャンネル モード
 - ミラー チャンネル モード
- システム レベル RAS モードの組み合わせには次の制限があります。
 - プラットフォーム単位の非ミラー モードとミラー モードを混在させることはできません。
- TSV-RDIMM と他の DIMM を混在させないでください。
- RDIMM と LRDIMM を混在させないでください。
- シングル ランク DIMM は、同じチャンネル内でデュアル ランク DIMM と混在できます。
- 同じチャンネル内でクアドランク RDIMM とシングルまたはデュアルランク RDIMM を混在させないでください。
- より良いメモリ アクセス性能を得るために、次の技術制約を理解してください。
 - DIMM を 1 つだけ使用する場合は、特定のチャンネルの DIMM スロット 1、つまり青色スロット (CPU から最も遠いスロット) に装着する必要があります。
 - シングルまたはデュアル ランク DIMM を 2DPC 用に装着する場合は、必ず数字の大きいランクの DIMM を先に (最も遠いスロットから) 装着してください。2DPC の例では、最初に DIMM スロット 1 にクアドランク DIMM を装着します。次に、DIMM スロット 2 にデュアル ランク DIMM を装着します。
- CPU 1 と CPU 2 (装着する場合) 用の DIMM の構成は、常に同一である必要があります。
- ミラーリングを使用する場合は、ペア化された DDR4 バス全体で DIMM を同じペアで装着する必要があります。
- メモリのミラーリングを使用すると、使用可能なメモリ量が 50% 減少します (ミラーリングを行う DIMM の数は均一にしてください)。
- 非 ECC DIMM はサポートされていません。
- 前の世代のサーバのシスコ メモリ (DDR3) はこのサーバと互換性がありません。
- 12 個の DIMM スロットで使用できる最大合計メモリ容量は 768 GB です。容量の合計が 768 GB を超えるメモリを 12 個の DIMM スロットに装着するには、SKU の型番が「M」で終わる CPU (たとえば、UCS-CPU-6134M) を使用する必要があります。

メモリの詳細については、[「物理レイアウト」 \(9 ページ\)](#) を参照してください。

物理レイアウト

各 CPU に 6 つの DIMM チャンネルがあります。

- CPU1 にはチャンネル A、B、C、D、E、F
- CPU2 にはチャンネル G、H、J、K、L、M

各 DIMM チャンネルに 2 基の slots (slot 1 と slot 2) があります。青の DIMM slot が slot 1 用で、黒の slot が slot 2 用です。

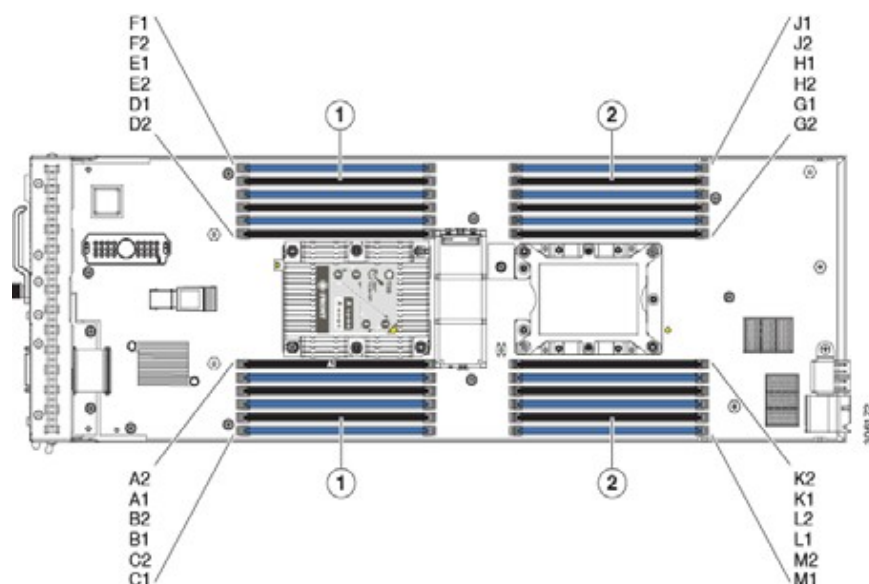
たとえば、DIMM slot の A1、B1、C1、D1、E1、F1 は slot 1 に属し、A2、B2、C2、D2、E2、F2 は slot 2 に属します。

図 2 に、マザーボード上の slot およびチャンネルの物理的な配置を示します。マザーボードの右半分の DIMM slot (チャンネル A、B、C、D、E、F) は CPU 1 に関連付けられ、マザーボードの左半分の DIMM slot (チャンネル G、H、J、K、L、M) は CPU 2 に関連付けられています。slot 1 (青) の DIMM slot は必ず、対応する slot 2 (黒) の slot よりも CPU から離れた位置にあります。slot 1 の slot (青) は、slot 2 の slot (黒) の前に装着されます。

図 2 C220/C240 M5 CPU DIMM チャンネルおよび slot の物理レイアウト



図 3 B200 M5 CPU DIMM チャンネルおよび slot の物理レイアウト



メモリ搭載ルール

サーバ上のメモリ構成を検討する際には、以下の事項を考慮してください。

- 各チャンネルには DIMM スロットが 2 基あります（たとえば、チャンネル A = スロット A1 と A2）。
 - チャンネルは DIMM が 1 つまたは 2 つ装着された状態で動作可能です。
 - チャンネルの DIMM が 1 つだけの場合は、スロット 1 に装着します（青色のスロット）。
- CPU が取り付けられていない DIMM ソケットでは、DIMM を装着しても認識されません。
- [表 5](#) に示す DIMM 混在ルールに従ってください。

表 5 C220、C240、B200 M5 サーバの DIMM ルール

DIMM パラメータ	同じチャンネル内の DIMM	同じスロットの DIMM ¹
<u>DIMM 容量</u> RDIMM = 8、16、32、64、128 GB LRDIMM = 64 GB TSV-RDIMM = 64 GB、128GB	同じチャンネル内の DIMM (A1、A2 など) の容量を同じにする必要はありません。 TSV-RDIMM を LRDIMM や RDIMM と混在させないでください。	最適なパフォーマンスを得るためには、同じスロット内の DIMM (A1、B1、C1、D1、E1、F1 など) の容量を同じにする必要があります。 TSV-RDIMM を LRDIMM や RDIMM と混在させないでください。
<u>DIMM 速度</u> 2666 MHz	DIMM は取り付けられた CPU の最低速度で動作します。	DIMM は取り付けられた CPU の最低速度で動作します。
<u>DIMM タイプ</u> TSV-RDIMMS、RDIMM、または LRDIMM	同じチャンネル内で DIMM タイプを混在させないでください。	同じスロット内で DIMM タイプを混在させないでください。

注：

1. 同じスロット内に異なる DIMM 容量を存在させることはできますが、最適なパフォーマンスより低くなる可能性があります。最適なパフォーマンスを得るためには、同じスロット内のすべての DIMM を同じにする必要があります。

DIMM 装着順序

表 6 に従って各 CPU の DIMM を装着します。

表 6 C220、C240、B200 M5 DIMM の装着順序

	CPU1 のスロットへの装着		CPU2 のスロットへの装着	
	青色スロット	黒色スロット	青色スロット	黒色スロット
1	(A1)	-	(G1)	-
2	(A1、B1)	-	(G1、H1)	-
3	(A1、B1、C1)	-	(G1、H1、K1)	-
4	(A1、B1)、(D1、E1)	-	(G1、H1)、(K1、L1)	-
6	(A1、B1)、(C1、D1) (E1、F1)	-	(G1、H1)、(J1、K1) (L1、M1)	-
8	(A1、B1)、(D1、E1)	(A2、B2)、(D2、E2)	(G1、H1)、(K1、L1)	(G2、H2)、(K2、L2)
12	(A1、B1)、(C1、D1) (E1、F1)	(A2、B2)、(C2、D2) (E2、F2)	(G1、H1)、(J1、K1) (L1、M1)	(G2、H2)、(J2、K2) (L2、M2)

注：CPU ごとに 5、7、9、10、11 個の DIMM を使用することは推奨されません。

推奨メモリ構成

ここでは、C220、C240、B200 M5 サーバに推奨されている DIMM の装着順序のルールを説明します。

- すべての DIMM を DDR4 DIMM にする必要があります。
- 以下を混在させないでください。
 - 同じチャンネル内のクロック レートが異なる DIMM
 - RDIMM と LRDIMM または TSV-RDIMM とその他の DIMM
- DIMM スロットは青と黒に分かれています。最初に青色のスロットに装着します。
- 同じチャンネル内で DIMM ランクが混在している場合は、最も高いランクの DIMM を青色の DIMM スロットに装着し、それより低いランクの DIMM を黒色の DIMM スロットに装着します。

さまざまなメモリ構成を使用できます。最良の結果を得るために、DIMM の装着では [表 7](#) に従います。



注：以下の各表には、推奨および提案される構成の一部のみを記載しています。シスコがサポートする使用可能な構成は他にも数多くあります。シスコ製 DIMM については、本書に記載のいくつかの基本的なルールに準拠する限り、どのような組み合わせでの装着もサポートされます。

表 7 B200 M5、C220 M5、および C240 M5 に最も推奨されるメモリ構成

合計システムメモリサイズ	CPU-1		CPU-2		DIMM タイプ	システム内の DIMM 合計数
	青色スロット	黒色スロット	青色スロット	黒色スロット		
	バンク 1 (A1、B1、C1、D1、E1、F1)	バンク 2 (A2、B2、C2、D2、E2、F2)	バンク 1 (G1、H1、J1、K1、L1、M1)	バンク 2 (G2、H2、J2、K2、L2、M2)		
96 GB	6 X 8 GB	-	6 X 8 GB	-	R	12
192 GB	6 X 8 GB	6 X 8 GB	6 X 8 GB	6 X 8 GB	R	24
192 GB	6 X 16 GB	-	6 X 16 GB	-	R	12
288 GB	6 X 16 GB	6 X 8 GB	6 X 16 GB	6 X 8 GB	R	24
384 GB	6 X 16 GB	6 X 16 GB	6 X 16 GB	6 X 16 GB	R	24
384 GB	6 X 32 GB	-	6 X 32 GB	-	R	12
384 GB	6 X 32 GB	-	6 X 32 GB	-	LR	12
480 GB	6 X 32 GB	6 X 8 GB	6 X 32 GB	6 X 8 GB	R	24
576 GB	6 X 32 GB	6 X 16 GB	6 X 32 GB	6 X 16 GB	R	24
768 GB	6 X 32 GB	6 X 32 GB	6 X 32 GB	6 X 32 GB	R	24
768 GB	6 X 32 GB	6 X 32 GB	6 X 32 GB	6 X 32 GB	LR	24
768 GB	6 X 64 GB	-	6 X 64 GB	-	LR	12
768 GB	6 X 64 GB	-	6 X 64 GB	-	TSV-R	12

表 7 B200 M5、C220 M5、および C240 M5 に最も推奨されるメモリ構成

合計システムメモリサイズ	CPU-1		CPU-2		DIMM タイプ	システム内の DIMM 合計数
	青色スロット	黒色スロット	青色スロット	黒色スロット		
	バンク 1	バンク 2	バンク 1	バンク 2		
	(A1、B1、C1、D1、E1、F1)	(A2、B2、C2、D2、E2、F2)	(G1、H1、J1、K1、L1、M1)	(G2、H2、J2、K2、L2、M2)		
1152 GB	6 X 64 GB	6 X 32 GB	6 X 64 GB	6 X 32 GB	LR	24
1536 GB	6 X 64 GB	6 X 64 GB	6 X 64 GB	6 X 64 GB	LR	24
1536 GB	6 X 64 GB	6 X 64 GB	6 X 64 GB	6 X 64 GB	TSV-R	24
1536 GB	6 X 128 GB	-	6 X 128 GB	-	TSV-R	12
2304 GB	6 X 128 GB	6 X 64 GB	6 X 128 GB	6 X 64 GB	TSV-R	24
3072 GB	6 X 128 GB	6 X 128 GB	6 X 128 GB	6 X 128 GB	TSV-R	24

追加の DIMM 装着

表 8 のリストは、サポートされているすべての DIMM 装着の完全なリストではなく、一般的な構成オプションに焦点が当てられています。

表 8 C220、C240、B200 M5 でサポートされている DIMM 構成

CPU 1 DIMM	CPU 1 用の DIMM の総数	CPU 1 の容量	CPU 2 DIMM	CPU 2 用の DIMM の総数	CPU 2 の容量	2 つの CPU の合計容量
1 X 8 GB*	1	8 GB	8 GB X 1	1	8 GB	16 GB
2 X 8 GB*	2	16 GB	8 GB X 2	2	16 GB	32 GB
16 GB X 1	1	16 GB	16 GB X 1	1	16 GB	32 GB
3 X 8 GB*	3	24 GB	3 x 8 GB	3	24 GB	48 GB
4 X 8 GB*	4	32 GB	8 GB X 4	4	32 GB	64 GB
16 GB X 2	2	32 GB	16 GB X 2	2	32 GB	64 GB
32 GB X 1	1	32 GB	32 GB X 1	1	32 GB	64 GB
6 X 8 GB*	6	48 GB	8 GB X 6	6	48 GB	96 GB
16 GB X 3	3	48 GB	16 GB X 3	3	48 GB	96 GB
8 X 8 GB *	8	64 GB	8 GB X 8	8	64 GB	128 GB
16 GB X 4	4	64 GB	16 GB X 4	4	64 GB	128 GB
32 GB X 2	2	64 GB	32 GB X 2	2	64 GB	128 GB
1 X 64 GB	1	64GB	1 X 64 GB	1	64 GB	128 GB
32 GB X 3	3	96 GB	3 X 32 GB	3	96 GB	192 GB
16 GB X 6	6	96 GB	16 GB X 6	6	96 GB	192 GB
12 X 8 GB*	12	96 GB	8 GB X 12	12	96 GB	192 GB

表 8 C220、C240、B200 M5 でサポートされている DIMM 構成

CPU 1 DIMM	CPU 1 用の DIMM の総数	CPU 1 の容量	CPU 2 DIMM	CPU 2 用の DIMM の総数	CPU 2 の容量	2 つの CPU の合計容量
16 GB X 8	8	128 GB	16 GB X 8	8	128 GB	256 GB
32 GB X 4	4	128 GB	32 GB X 4	4	128 GB	256 GB
2 X 64 GB	2	128 GB	2 X 64 GB	2	128 GB	256 GB
1 X 128 GB	1	128 GB	1 X 128 GB	1	128 GB	256 GB
6 X 32 GB	6	192 GB	32 GB X 6	6	192 GB	384 GB
16 GB X 12	12	192 GB	16 GB X 12	12	192 GB	384 GB
3 X 64 GB	3	192 GB	3 X 64 GB	3	192 GB	384 GB
32 GB X 8	8	256 GB	32 GB X 8	8	256 GB	512 GB
4 X 64 GB	4	256 GB	4 X 64 GB	4	256 GB	512 GB
2 X 128 GB	2	256 GB	2 X 128 GB	2	256 GB	512 GB
32 GB X 12	12	384 GB	32 GB X 12	12	384 GB	768 GB
6 X 64 GB	6	384 GB	6 X 64 GB	6	384 GB	768 GB
3 X 128 GB	3	384 GB	3 X 128 GB	3	384 GB	768 GB
64 GB X 8	8	512 GB	64 GB X 8	8	512 GB	1024 GB
4 X 128 GB	4	512 GB	4 X 128 GB	4	512 GB	1024 GB
64 GB X 12	12	768 GB	64 GB X 12	12	768 GB	1536 GB
6 X 128 GB	6	768 GB	6 X 128 GB	6	768 GB	1536 GB
8 X 128 GB	8	1024 GB	8 X 128 GB	8	1024 GB	2,048 GB
12 X 128 GB	12	1536 GB	12 X 128 GB	12	1536 GB	3072 GB

* 8 GB は C220M5 および C240M5 サーバ専用



注：可能な場合は、表 7 に示す最も推奨されるメモリ構成を使用します。

DIMM または DIMM ブランクの取り付け

ブレード サーバのスロットに DIMM または DIMM ブランクを取り付けるには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 両側の DIMM コネクタ ラッチを開きます。

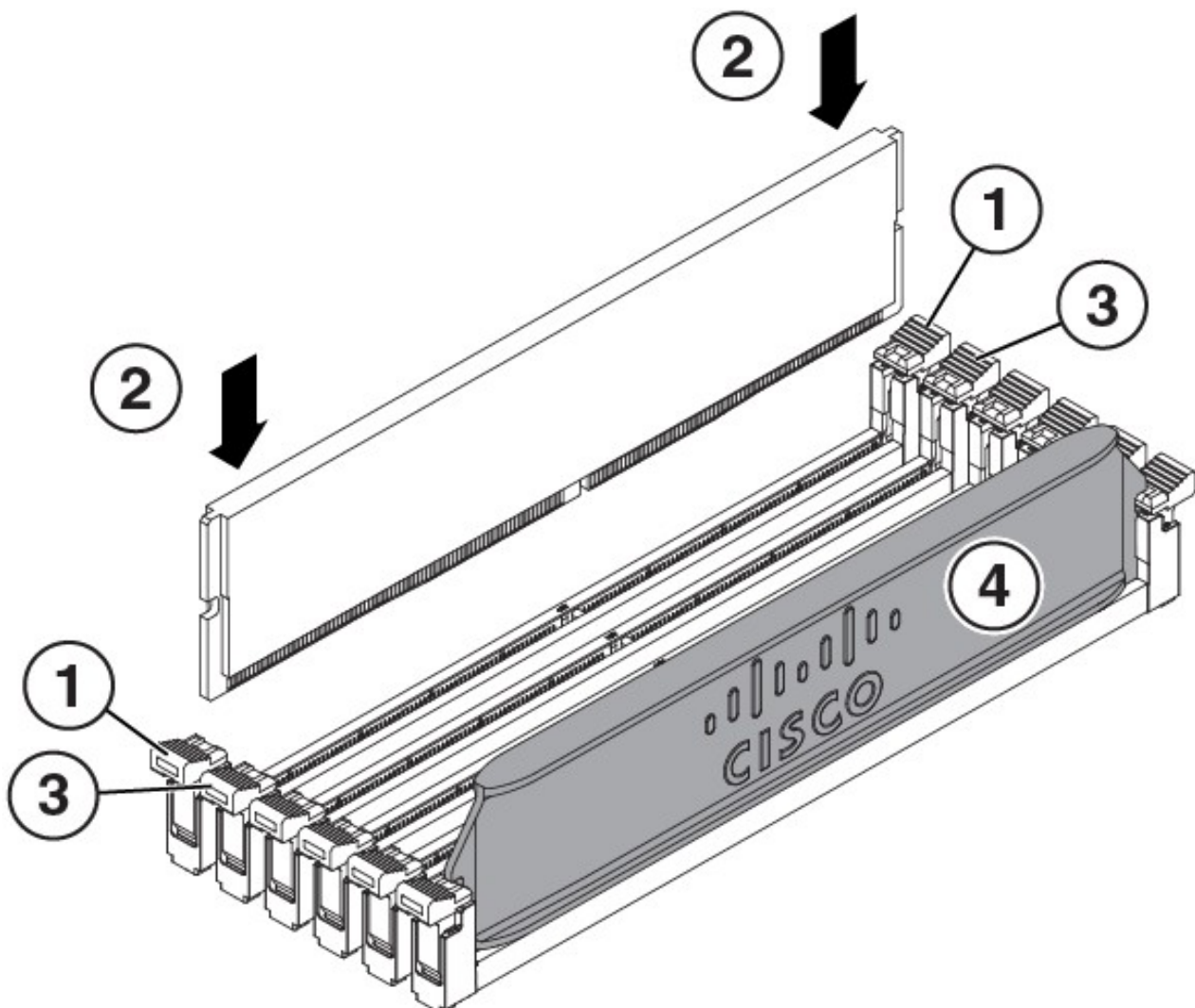
ステップ 2 カチッという音がするまで、DIMM の両端を均等にスロットに押し込みます。

注：DIMM のノッチがスロットに合っていることを確認します。ノッチがずれている場合、DIMM、スロット、またはその両方が損傷することがあります。

ステップ 3 DIMM コネクタ ラッチを内側に少し押し、ラッチを完全にかけます。

ステップ 4 すべてのスロットに DIMM または DIMM ブランクを装着します。スロットを空にすることはできません。

図 4 メモリの装着



©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2019年7月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先